

国立国会図書館 今渡唐織曾我 2巻 208-304

ガラス使用

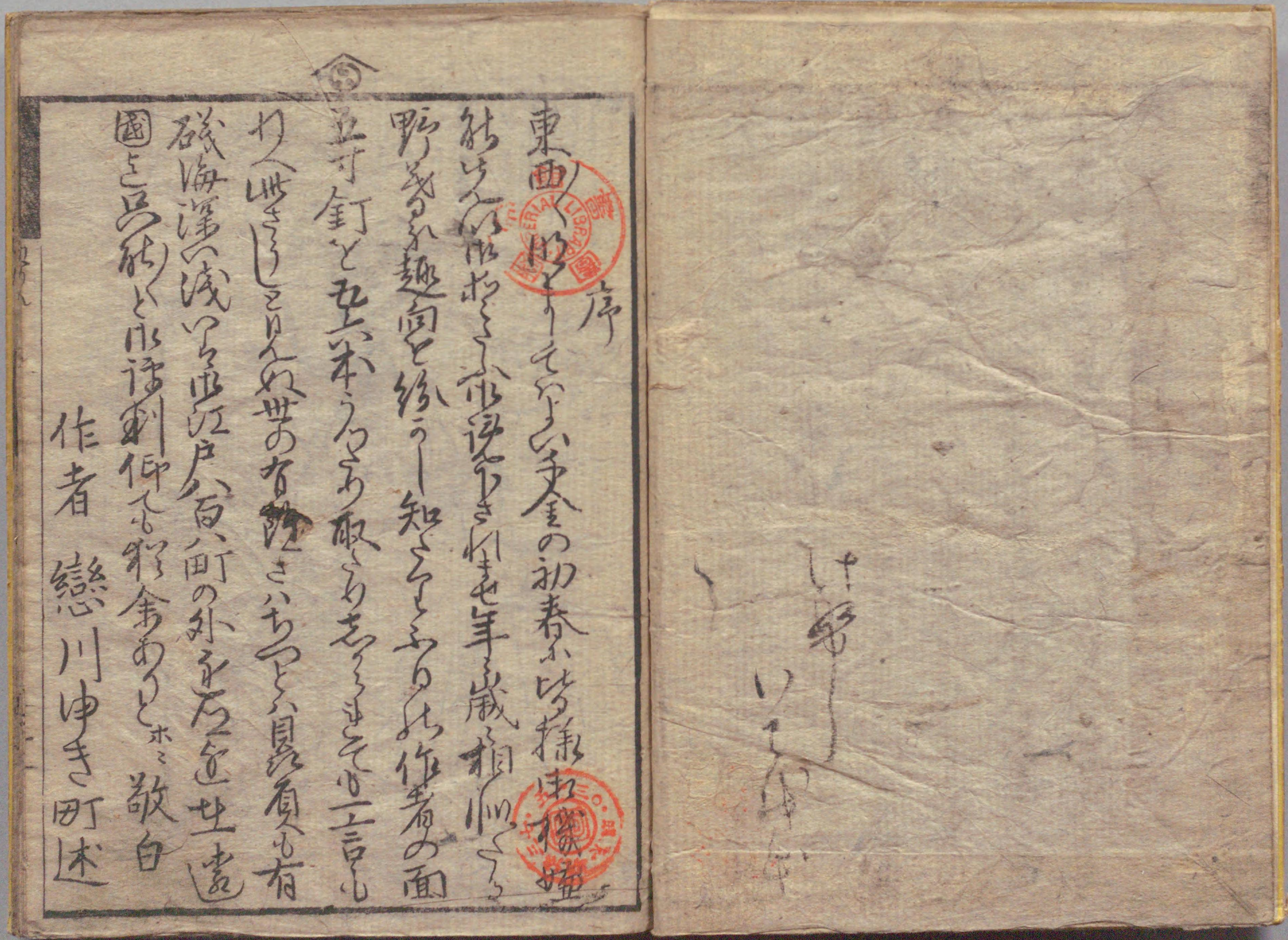
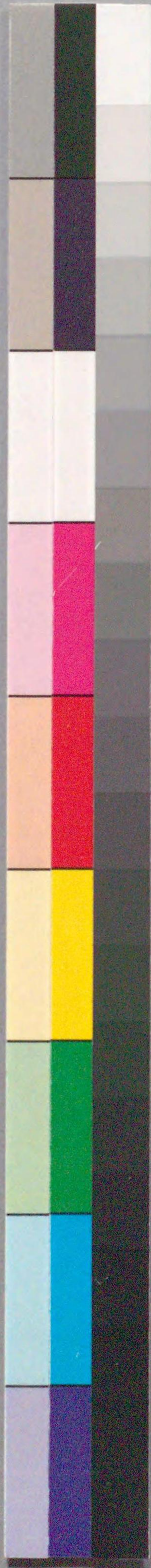
今渡唐織曾我

北元改姜馬 二冊
豊川春所作

美作

208
304

8



作者 戀川伸子 町述

東西の形よりそのふくまの初春の模様
新けの形おもしろい年歳相心
野々も趣向と終り知りてあり作者の面
立可釘と云ふ本うるあり取らるるまてり一言心
け世きしと見ぬ世のありと見ぬ有り有
磯海深の浅いより江戸の百町の外を石をせ遠
園と只新と水は刺仰る程余ありとホク敬白



し
り
ん
ん









野山海川をめぐりて
 明州の...
 白雲...
 白居...
 作り...
 神と
 わ...
 成...
 合...
 神...

この
 白雲...
 白居...
 作り...
 神と

ひかりはけり...
 白雲...
 白居...
 作り...
 神と

私せハ
 日本...
 白雲...
 白居...
 作り...
 神と





6 7 8 9 110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12





浦月
宵月香

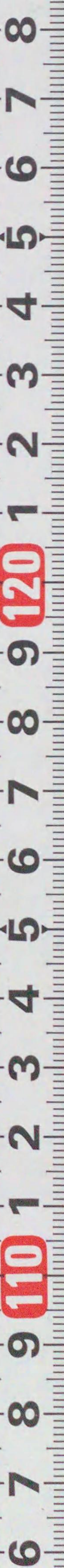
神の舟のくろくしりかゆふ
ゆらぐしりておどろかすいと
しりておどろかすいとあり

かまきり
かまきり

ハイ
しりておどろかすいと

全日本
東江の
そらけり
たまごの
趙子昂







6 7 8 9 110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12





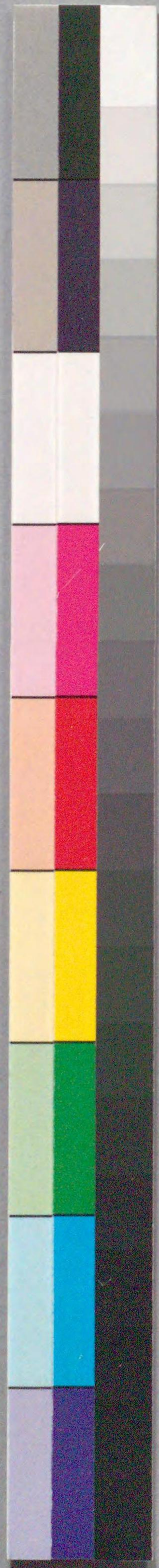
208
304

12/12/38

跋

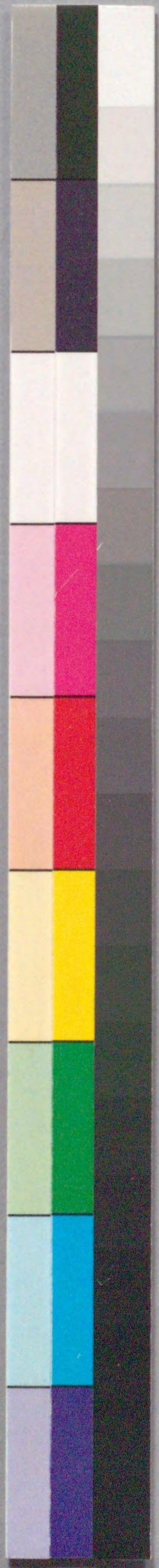
改義画

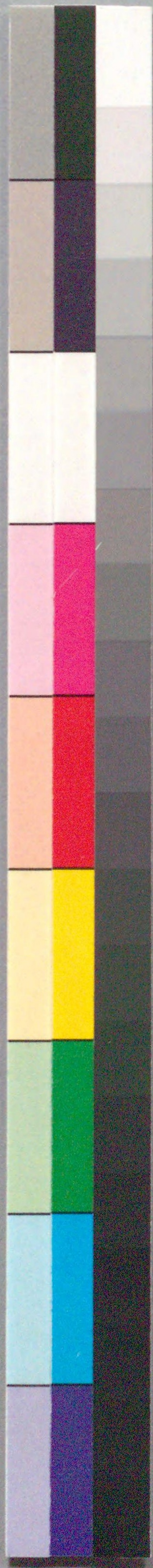
曾我の世界乃變化も亦變化しつらう
 三川江の裡にぬされきんむらぶらん
 八反ハ二筆さうり香さうくらんらんは
 の中もくまらうまらうあけぬよの生をむに
 まらうらう通ハ釋さうりおく釋さうりも通さうり
 幸町ハさうり出さうり喜町さうりもさうり
 そのじんさうり柱さうり漆さうり白貴貞さうり
 ろん作さうり師匠さうり味噌さうりあさうり
 千鳥さうりあぬらさうり忠酒さうりあさうり
 さうりあさうりあさうりあさうりあさうり
 壽の盃とあけ
 無川さうり



208
特別
304

伊
三
郎





国立国会図書館 今渡唐織曾我 2卷 208-304

ガラス使用